

普及活動情勢報告（令和4年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

四万十町で農家になりませんか！ ～新・農業人フェア（大阪）～



四万十町ブースの様子

11月26日、大阪府で開催された「新・農業人フェア」に四万十町が出展しました。

このイベントは、就農に関心のある参加者が市町村、法人、組合など様々な農業団体のブースに自由に立ち寄って情報収集をするという形式です。

普及所は、四万十町に興味を持って立ち寄っていただいた方には、四万十町の特徴、主要品目、就農や移住にあたっての支援内容などについて情報提供しました。

今後もこのような農業イベントに積極的に参加し、四万十町への移住者、新規就農者の獲得に努めます。

農福連携の推進に向けて ～四万十ふくふくまつり～



ニラの出荷調製作業体験

12月3日、窪川四万十会館で開催された福祉イベント「四万十ふくふくまつり」に於いて、四万十町農福連携推進協議会の構成員であるJA、普及所が中心となって農福連携をPRするブースを設置しました。

ブースの中では、県が作成した農福連携について説明するパネルの展示やDVD上映のほか、四万十町で農福連携の取組事例が多いニラとミョウガの出荷調製作業体験会を実施しました。体験会には事業所の職員や利用者を中心に34名が参加し、アンケートでは「農福連携について理解が深まった」などのご感想を頂きました。

今後も農福連携の推進に向け、勉強会や体験会の開催などに取り組んでいきます。

今作の振り返り ～JA高知県四万十シシトウ研究会出荷反省会～



出荷反省会の様子

12月7日、JA高知県四万十シシトウ研究会の出荷反省会が開催され、生産者10名が参加しました。

普及所からは、今年の気象データをもとにした栽培状況の振り返りや非辛みシシトウ栽培実証試験の結果報告を実施しました。

生産者からは、「風の影響を考えると植えないといけない」「L品率が高くなりそう」など非辛みシシトウについて様々な意見が聞かれました。

普及所は、今後もJA等関係機関と協力し、シシトウの生産振興に取り組んでいきます。

これからのナバナ出荷に向けて ～新規栽培者と土佐清水市ナバナ視察研修～



ナバナほ場訪問の様子

12月14日、窪川地域のナバナ新規栽培者1名と土佐清水市のナバナを視察研修しました。

土佐清水市では早生品種の出荷が始まっており、ナバナの収穫方法や調製作業について意見交換しました。

新規栽培者からは、「収穫するときは何を使って収穫するのか」や「どのくらいの大きさを収穫したら良いのか」など多くの質問がありました。また、出荷調製作業では今後のために土佐清水市の生産者から「実際に調製作業をやってみたら」と提案があり、調製作業を体験させていただきました。

普及所は、今後もJA等関係機関と協力し、新規栽培者の支援をしていきます。

高品質米生産に向けて ～宮内商店稲作部会総会～



普及所からの説明の様子

12月16日、有限会社宮内商店の稲作部会総会が開催され、生産者35名が参加しました。

総会では、今年のお米食味コンテストにおける受賞状況や水稻品種「十和」の品種登録について等の報告がありました。普及所からは、今年多発した斑点米カメムシ類に対する防除方法について説明しました。参加者からは、「農薬ラベルではカメムシ類と一括りにされていても、カメムシの種類によって多少性質が異なり、それに合わせた防除も重要であることが分かった」、「薬剤防除だけでなく、水田周辺の畦畔や農道の除草も重要であることが理解できた」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も管内生産者の高品質米生産を支援していきます。